学校番号	103

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　家庭基礎「持続可能な未来をつくる」　（第一学習社）						
副教材等	LIFE　おとなガイド　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭基礎で学習したことをベースにして衣食住などに関する事柄を科学的な視点をもって学習していきましょう。そのためには、日常的に生活にかかる様々な現象に疑問を持ちましょう。例えば、クッキーの材料に砂糖があるのはなぜでしょう。砂糖は「甘味」を加える以外にも防腐・保水・着色など多くの働きがあり、調理効果を高めています。実験や実習を通して生活事象を分析し、調査活動をしたりするなかで疑問を解決していきましょう。実験・実習や意見交換を多く実施することで、より実践的な知識・技術を身につけましょう。

2　学習の到達目標

家庭基礎で学習したことをベースにして、衣食住などに関する事柄・現象を科学的な視点をもって学習し、よりよい生活を実現することを目指す。

（１）　実験・実習を中心に学習し、より実践的な知識・技術を身に着ける。

（２）　目や耳・舌など五感を使って実物に触れたり、調査活動をしたりするなど、得た知識・技術をもとにそれを応用し、活用する力をつける。

（３）　自然科学的視点だけでなく、生産、流通、文化などの社会科学的視点を統合し学習することで、生活を豊かにするための実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生や衣食住、消費生活など生活に関わる知識・技術を一定の水準で身に着けている。具体的には一人で手縫いとミシン縫いができる。計画的にかつ安全に配慮した調理ができる。	生活にかかる事象に対して疑問を持ち、調査・実験等を通して解決する力を身に着けている。他者と協働し、理論的に考察、議論発表し、生活課題を解決するために行動することができる。	課題解決のために主体的に取り組み、得た知識技術を実生活で実践しようとしている。よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	食分野	１．味覚について ２．砂糖の調理特性 ①熱による状態変化（べっこうあめ・カラメルソース） ②防腐作用（ジャム） ③糖度計による測定 ３．卵の調理特性 ①熱凝固性（プリン） ②乳化作用（マヨネーズ） ③起泡性（ケーキ） ４．小麦粉の特性 ５．和菓子について ６．凝固 ①ゼラチン ②寒天 ７．ライフステージと食 ①離乳食 ②高齢者食 ８．栄養価計算 ９．レシピ作成 ①クッキー（班ごとにレシピを考え、調理する。） ②弁当（班ごとにメニューとレシピを考え、調理する。） １０．応用調理 ①ピザ ②メロンパン	a:様々な食品の調理特性を科学的に理解している。 自分と家族の食生活を計画・管理できるようになるために、各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、「健康によい、栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを理解している。 食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。 b:栄養的側面と調理的側面を理解し、目的に合わせた献立を考え、安全に配慮して計画的に調理することができる。 c: 食事や食品に関心を持ち、自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考えている。	筆記テスト 実技テスト	ワークシート 筆記テスト	ワークシート 授業観察 実習観察

	消費生活	１．購入について ２．消費者トラブルの分析と解	a：消費者問題を予防し適切に対応できるよう、消費者保護制度について理解している。 b：生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について考察、判断できる。 c：自立した責任ある消費者として，よりよい意思決定をしようとしている。	筆記テスト	筆記テスト ワークシート	ワークシート 授業観察
２学期	被服分野	１．被服の管理 ①洗剤（界面活性剤の働きと特徴） ②染み抜き ③アイロン ２．縫製技術 ①立体構成と平面構成 ②採寸 ③型紙 ３．手縫いでの被服製作 ①雑巾製作 ②基礎縫いとステッチ ③布おもちゃ製作 ※布おもちゃは保育分野学習時に製作 ４．ミシンでの被服製作 ①ティッシュケース ②ポーチ ③オリジナルバッグ製作 ５．これからの衣生活 ①端切れの活用 ②被服のリメイク	A：洗濯、洗剤の種類を知り、汚れが落ちる仕組みを科学的に理解している。 被服の手入れについて理解し、補修する技術を身に着けている。 b：これまで学習してきた被服の機能、素材と管理の知識を応用しながら、目的に合った被服を製作するために、被服が身体の形に合わせてどのように構成されているかを理解し製作できる。 c：・被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えている。 持続可能な衣生活を目指し、3Rを実践的に取り組んでいる。	筆記テスト 実技テスト	筆記テスト 被服作品	ワークシート 授業観察 実習観察

	保育分野	1．子どもの発達 ①子どもの育つ力を知る ②子どもと関わる ※布おもちゃの製作を通して 2．保育の現状と子育て支援	a:子どもの発達に応じて適切に関われるようになるため、子どもがうまれつき持っている能力や心身の発達について理解している。 b: 社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育ての環境や課題について考察し、改善策を模索している。 c: 子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか，考えて実践している。	筆記テスト ワークシート	筆記テスト 作品	ワークシート 授業観察 実習観察
3学期	住分野	1．住居の役割と機能 2．安全で快適な住生活の計画	a: 自らの住生活に生かすことができるよう、防災・日照・換気などに関する環境性能について理解を深めている。 b: 生涯を見通した住生活とライフステージごとの住要求について考える。 c:将来に向けて自立するために、生活拠点ともなる住居の役割を認識し、その充実に向けて取り組んでいる。	筆記テスト ワークシート	筆記テスト ワークシート	ワークシート 授業観察
	人の一生	1．各ライフステージの特徴と課題 2．人生すごろく製作	a: ・生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。 b: 人生の目標を達成し，自分らしい生活が実現できるよう、考察している。 c: 主体的に課題を見つけ、人生をよりよいものにしようとしている。	筆記テスト ワークシート	すごろく作品	ワークシート 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度